

■■ 特集の概要 ■■

神戸大学総合情報処理センターでは、新しい計算機システムを平成9年1月から運用開始しました。4月には全学生に対するID配布が行なわれ、計算機の利用者数も飛躍的に増加しています。本特集は、このシステムをできるだけ多くの方々に紹介するためのものです。

新システムは、大きく分けて研究用サーバー群と教育用端末の2つから構成されています。主な研究用サーバーとしては

サーバー	ホスト名	機器
汎用並列サーバー	gaia	Origin2000
高速演算サーバー	zeus	SX-4/2C
ビジュアリゼーションサーバー	apollo	Onyx
アプリケーションサーバー	artemis	SPP1600XA-8
ファイルアーカイブシステム	olympus	SPP1600HSM

がセンター本館に設置されています。

一方、教育用端末としては Windows NT を搭載した PC がセンター分館・大学教育研究センター・六甲台に 210台、シリコングラフィクス社のワークステーション 02 が分館に 103台それぞれ配置されています。こうした端末はネットワークを経由して、サーバー群と接続されており、学内どこからでも同一の環境で利用できるようになっています。

特集の内容は、松田先生の新システム導入経緯についての記録から始まり、各サーバーに載っているアプリケーションの利用例や、科学技術計算のためのプログラムのベクトル化、02 を使った VRML の作成など多岐にわたっています。また今号の表紙はビジュアリゼーションサーバー apollo の コンピュータグラフィクス機能を駆使して作成されたものです。本特集が、より多くの方に新システムを利用していただくためのきっかけになれば幸いです。

なお最新の情報につきましてはセンターホームページ

<http://www.kobe-u.ac.jp/~ipc/>

を御参照ください。

中村良介 記

神戸大学総合情報処理センター

システム構成図

